



株式会社ベネッセホールディングス

広報・IR部

〒206-0033

東京都多摩市落合1-34

TEL: 042-357-3656

E-mail: [tokyoir@mail.benesse.co.jp](mailto:tokyoir@mail.benesse.co.jp)

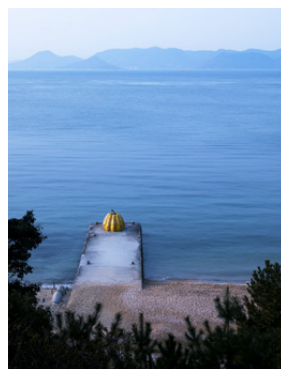
URL: <http://www.benesse-hd.co.jp/ir/>

# DATA BOOK 2017

## 目次

- 01 At a Glance
- 03 連結財務ハイライト
- 05 連結貸借対照表
- 09 連結損益計算書
- 11 連結キャッシュ・フロー計算書
- 13 連結セグメント情報
- 15 事業データ
- 19 連結経営指標
- 21 CSRデータ
- 23 事業別概況
- 30 投資家情報
- 31 会社情報

2017年3月期



ON THE COVER  
草間彌生  
「南瓜」1994  
(C)YAYOI KUSAMA

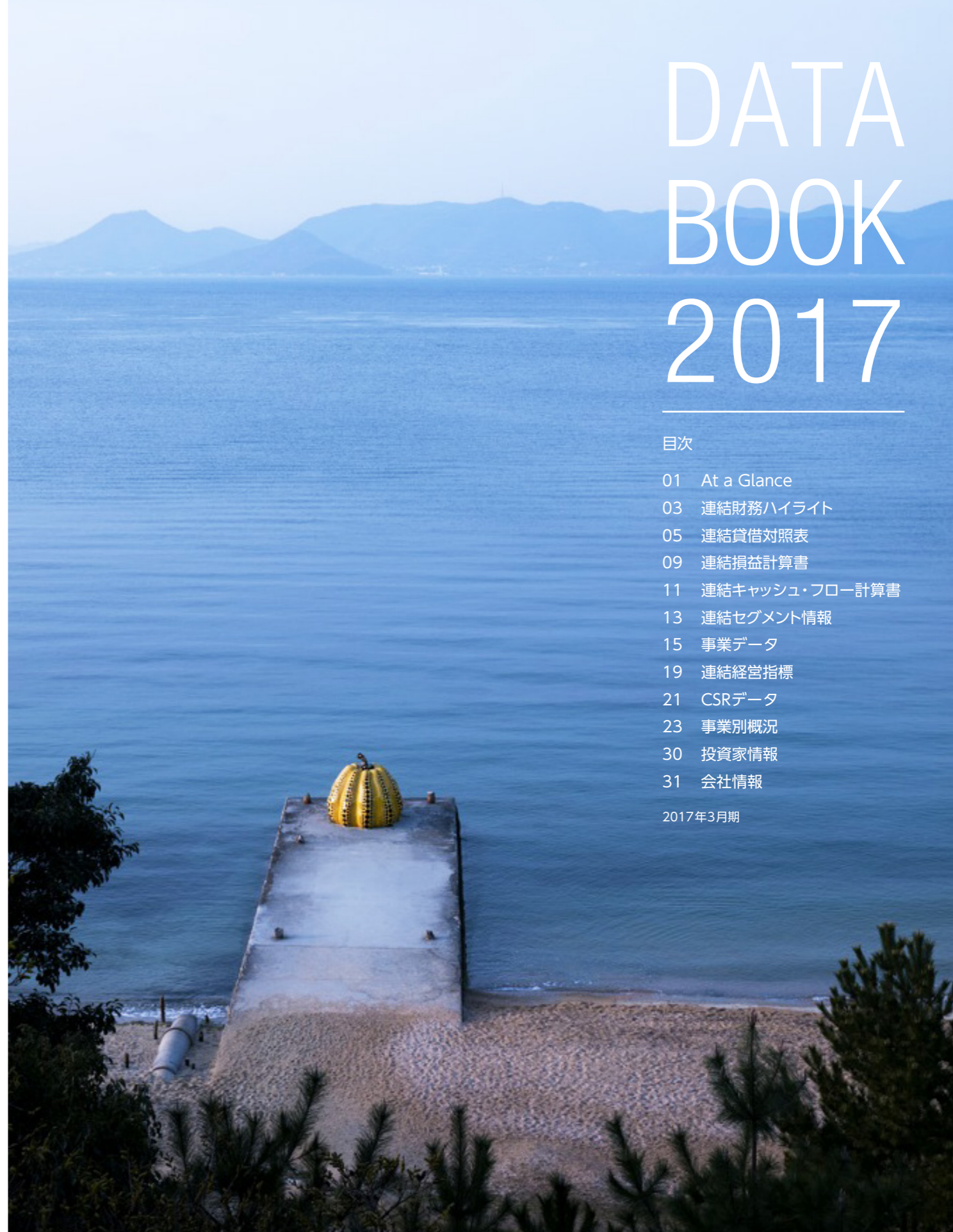
「ベネッセアートサイト直島」は、瀬戸内海の直島、豊島、犬島を舞台に、(株)ベネッセホールディングス、(公財)福武財団が展開しているアート活動の総称です。日本の原風景ともいえる瀬戸内の自然や、地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出していく活動を行っています。



ベネッセアートサイト直島  
<http://benesse-artsite.jp/>

### 免責事項

本Data Bookは投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものです。当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に誤りがあった場合、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



## 売上高構成比

### 国内教育カンパニー



## 主な事業

- 通信教育講座「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」
- 大学入試模擬試験「進研模試」を中心とした学校向け教育事業
- 学習塾・予備校事業
- 子ども向け英語教室事業

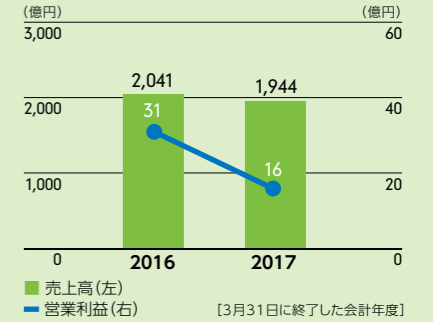
## 主なグループ会社

- (株)ベネッセコーポレーション
- (株)東京個別指導学院
- (株)アップ
- (株)東京教育研
- (株)お茶の水ゼミナール
- (株)進研アド
- (株)ミネルヴァインテリジェンス

## 主な取り扱い商品とサービス



## 売上高・営業利益

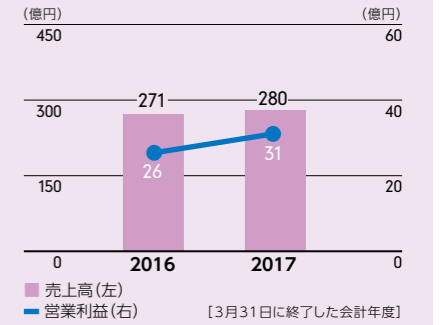


### 海外事業カンパニー

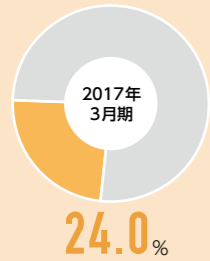


- 中国・台湾での幼児向けを中心とした通信教育事業

- (株)ベネッセコーポレーション
- 倍楽生商貿(中国)有限公司

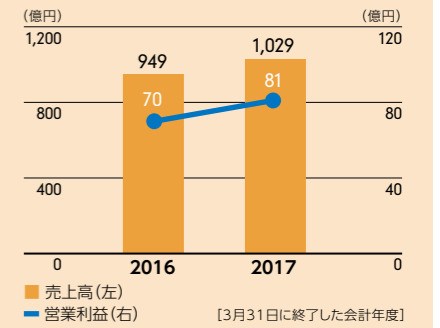


### 介護・保育カンパニー



- 入居介護サービス事業 (高齢者向けホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の運営)
- 在宅介護サービス事業
- 保育園・学童運営事業
- 看護師・介護士の人材紹介及び派遣事業
- 高齢者向け配食サービス事業

- (株)ベネッセスタイルケア
- (株)ベネッセMCM
- (株)ベネッセパレット
- (株)ベネッセシニアサポート

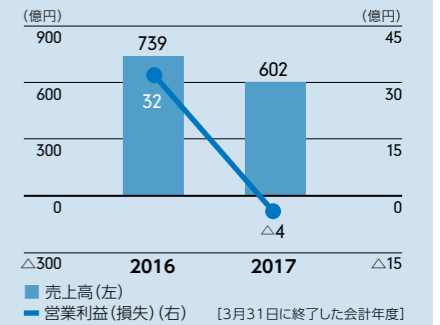


### 語学カンパニー



- 語学教育事業、ELS事業(留学支援事業)、グローバル人材教育事業
- 通訳・翻訳事業

- ベルリッツ コーポレーション
- (株)サイマル・インターナショナル

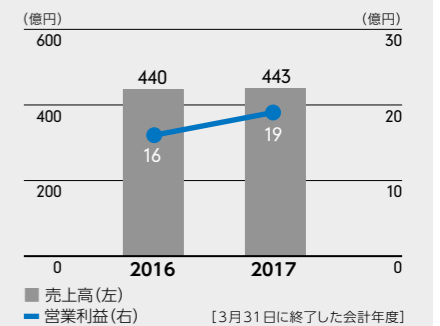


### その他



- テレマーケティング事業
- 通信販売事業「たまひよの内祝」「たまひよSHOP」
- 妊娠・出産・育児雑誌「たまごクラブ」「ひよこクラブ」
- 情報システムの保守・運用事業、情報処理サービス事業

- (株)TMJ
- (株)ベネッセコーポレーション
- (株)ベネッセインフォシェル



3月31日に終了した会計年度

会計年度:	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
売上高	¥ 384,514	¥ 412,711	¥ 406,602	¥ 412,828	¥ 423,706	¥ 450,182	¥ 466,399	¥ 463,264	¥444,190	¥ 430,064
売上原価	192,182	204,115	199,835	203,842	212,016	228,890	243,197	258,747	255,349	251,361
販売費及び一般管理費	157,449	169,469	168,877	166,118	177,892	183,146	187,371	175,290	177,977	171,016
営業利益	34,882	39,125	37,889	42,867	33,797	38,145	35,830	29,227	10,862	7,685
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	31,006	29,983	38,615	36,669	34,055	38,245	32,908	△3,475	9,921	8,800
法人税等合計	15,025	18,652	15,911	15,606	17,109	16,614	12,536	6,474	17,138	4,202
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	15,462	10,678	21,874	20,586	16,369	21,147	19,930	△10,705	△8,211	3,557
CAPEX	¥ 22,767	¥ 18,051	¥ 27,042	¥ 21,938	¥ 44,610	¥ 23,796	¥ 31,915	¥ 37,998	¥ 24,934	¥ 23,609
減価償却費及びのれんの償却額	11,829	13,456	13,028	13,738	14,183	16,957	17,367	21,056	21,606	20,384

(円)

1株当たり情報:

当期純利益又は当期純損失(△)	¥ 151.54	¥ 106.98	¥ 221.65	¥ 208.47	¥ 167.79	¥ 217.54	¥ 206.79	¥△111.30	¥△85.37	¥ 36.98
配当金	90	90	90	95	95	95	95	95	95	95

(百万円)

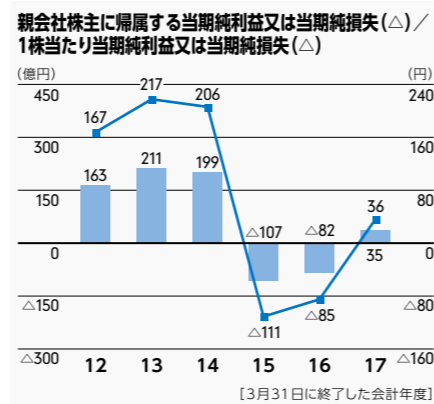
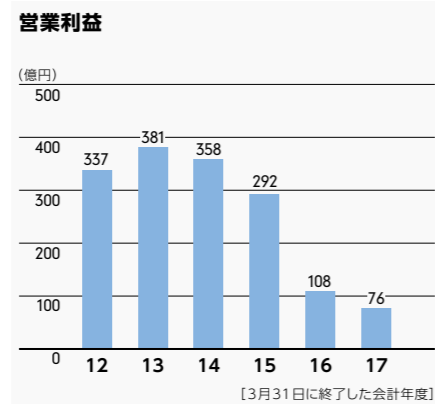
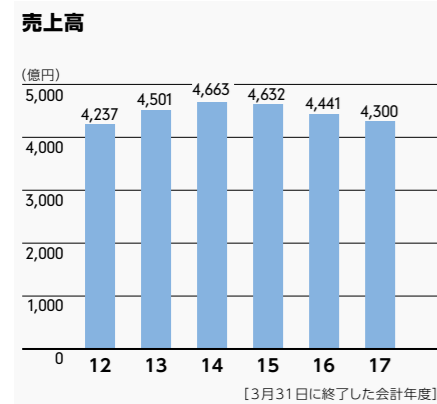
会計年度末:

総資産額	¥ 366,584	¥ 343,128	¥ 356,153	¥ 405,119	¥ 432,080	¥ 460,259	¥ 487,594	¥ 490,954	¥474,926	¥ 481,904
純資産額	202,342	168,497	183,169	192,793	194,189	207,479	215,109	197,892	179,266	175,166

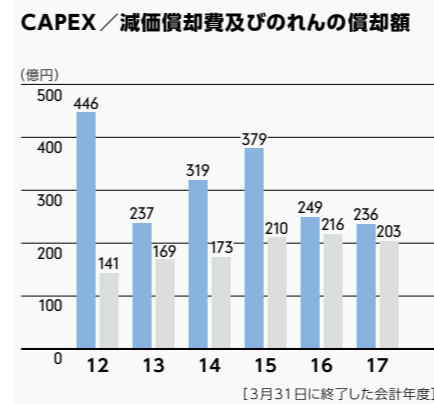
(円)

1株当たり純資産額	¥1,949.30	¥1,646.83	¥1,792.80	¥1,893.72	¥1,933.52	¥2,071.24	¥2,173.58	¥ 2,000.43	¥1,796.57	¥1,749.37
発行済株式総数(千株)	106,353	106,353	106,353	106,353	104,153	102,453	102,453	102,453	102,453	102,453

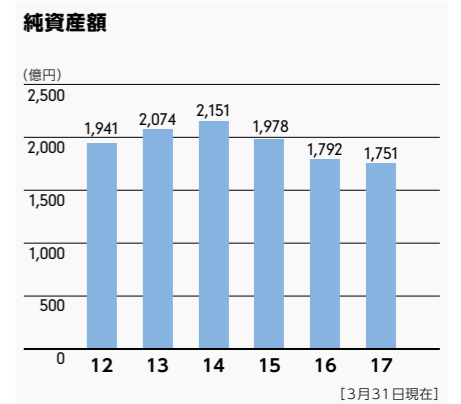
- (注) 1. 「売上原価」は、P.9～10の「売上原価」から「返品調整引当金戻入額」を減じ、「返品調整引当金繰入額」を加えています。  
 2. 「1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)」は、期中平均株式数に基づき算出しています。  
 3. 2008年3月期の「CAPEX」には、差入保証金が含まれています。  
 4. 2008年3月期の「減価償却費及びのれんの償却額」には、営業外費用の減価償却費が含まれています。  
 5. 「企業結合に関する会計基準」等を適用し、2016年3月期より、「当期純利益又は当期純損失(△)」を「親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)」としています。



■ 親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (左)  
 ■ 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△) (右)



■ CAPEX  
 ■ 減価償却費及びのれんの償却額



# 連結貸借対照表

(百万円)

3月31日現在	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>資産の部</b>										
<b>流動資産</b>	<b>¥175,899</b>	<b>¥179,850</b>	<b>¥179,687</b>	<b>¥233,544</b>	<b>¥230,014</b>	<b>¥248,663</b>	<b>¥262,779</b>	<b>¥251,278</b>	<b>¥243,602</b>	<b>¥250,787</b>
現金及び預金	50,414	42,784	48,877	93,982	72,647	72,464	79,726	104,541	91,892	113,542
受取手形及び売掛金	28,298	24,400	24,218	26,185	27,371	30,108	31,266	31,671	32,577	32,023
有価証券	38,296	43,517	31,631	32,053	49,128	57,491	51,279	24,313	44,501	30,301
たな卸資産	17,043	—	—	—	—	—	—	—	—	—
商品及び製品	—	14,112	13,969	14,334	16,900	21,105	31,750	25,873	18,316	20,057
仕掛品	—	3,685	3,334	4,255	4,098	3,911	4,611	3,737	3,481	3,535
原材料及び貯蔵品	—	1,780	1,707	1,693	1,634	1,807	1,643	1,595	1,726	1,506
繰延税金資産	4,794	5,758	5,230	6,262	5,482	6,185	5,658	6,034	3,514	3,694
未収入金	31,972	38,318	42,032	41,863	46,684	46,510	48,547	41,479	39,961	38,348
その他	6,923	7,281	10,426	14,450	7,781	10,767	10,044	13,775	9,067	9,373
貸倒引当金	△1,843	△1,788	△1,740	△1,536	△1,715	△1,686	△1,750	△1,744	△1,436	△1,596
<b>固定資産</b>	<b>190,684</b>	<b>163,278</b>	<b>176,466</b>	<b>171,575</b>	<b>202,066</b>	<b>211,595</b>	<b>224,815</b>	<b>239,676</b>	<b>231,324</b>	<b>231,116</b>
有形固定資産	72,606	74,609	75,994	75,122	91,105	97,765	107,440	121,996	129,743	136,231
建物及び構築物(純額)	28,598	29,223	29,016	28,223	31,675	31,166	31,527	31,819	31,446	29,369
土地	35,046	36,092	36,106	35,985	38,126	37,326	38,319	37,195	36,745	34,947
リース資産(純額)	—	—	—	2,133	12,597	19,893	28,008	43,317	52,723	63,384
その他(純額)	8,961	9,293	10,871	8,780	8,705	9,378	9,584	9,664	8,827	8,530
無形固定資産	59,066	29,895	42,500	43,535	55,330	54,970	58,031	58,355	51,327	43,918
のれん	44,848	13,157	18,537	15,620	23,452	20,233	19,325	18,526	16,150	13,611
ソフトウェア	—	—	22,405	26,545	27,639	30,642	35,098	36,576	32,844	28,430
その他	14,217	16,737	1,557	1,369	4,238	4,094	3,607	3,252	2,332	1,876
投資その他の資産	59,011	58,773	57,970	52,917	55,630	58,859	59,343	59,324	50,253	50,966
投資有価証券	33,057	29,374	25,101	16,756	16,497	19,072	18,040	13,771	13,806	14,316
長期貸付金	—	—	—	4,536	4,837	4,780	4,490	4,896	4,583	4,412
前払年金費用	4,340	4,461	4,442	4,383	4,236	3,816	—	—	—	—
退職給付に係る資産	—	—	—	—	—	—	1,376	2,457	385	1,710
繰延税金資産	2,333	4,391	3,260	6,099	6,848	7,347	9,969	10,073	2,522	1,596
その他	19,508	20,818	25,259	21,226	23,279	23,907	25,526	28,188	29,056	29,019
貸倒引当金	△227	△272	△93	△84	△69	△65	△60	△62	△101	△89
<b>資産合計</b>	<b>¥366,584</b>	<b>¥343,128</b>	<b>¥356,153</b>	<b>¥405,119</b>	<b>¥432,080</b>	<b>¥460,259</b>	<b>¥487,594</b>	<b>¥490,954</b>	<b>¥474,926</b>	<b>¥481,904</b>

- (注) 1. 「流動資産」の「たな卸資産」に含めて表示していた「商品及び製品」「仕掛品」「原材料及び貯蔵品」は、2009年3月期から区分掲記しています。  
 2. 「有形固定資産」の「その他」に含めて表示していた「リース資産」は、総資産額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。  
 3. 「無形固定資産」の「その他」に含めて表示していた「ソフトウェア」は、総資産額の100分の5を超えたため、2010年3月期から区分掲記しています。  
 4. 「投資その他の資産」の「その他」に含めて表示していた「長期貸付金」は、総資産額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。

# 連結貸借対照表

(百万円)

3月31日現在	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>負債の部</b>										
<b>流動負債</b>	<b>¥140,276</b>	<b>¥147,825</b>	<b>¥139,389</b>	<b>¥149,289</b>	<b>¥153,001</b>	<b>¥157,291</b>	<b>¥172,943</b>	<b>¥187,296</b>	<b>¥145,681</b>	<b>¥147,664</b>
支払手形及び買掛金	11,762	12,398	12,025	13,114	14,198	14,721	18,037	19,937	12,695	16,707
短期借入金	1,187	1,628	1,447	467	270	—	—	—	—	—
1年内返済予定の長期借入金	683	281	122	44	259	250	6,250	25,033	9	—
未払金	23,308	24,655	24,483	24,314	26,003	26,024	29,835	34,216	27,085	26,605
未払法人税等	7,667	11,458	4,864	14,323	6,647	9,048	6,278	3,430	5,053	5,280
前受金	77,861	79,596	78,691	78,655	87,624	88,710	93,468	84,385	79,479	80,361
添削料引当金	748	768	770	728	677	679	628	406	312	307
賞与引当金	5,892	6,174	6,178	6,290	6,737	6,874	6,841	6,528	6,387	6,563
役員賞与引当金	295	287	188	194	206	324	331	300	410	300
返品調整引当金	555	522	474	448	393	362	343	383	369	341
その他	10,313	10,055	10,144	10,706	9,982	10,297	10,926	12,672	13,877	11,196
<b>固定負債</b>	<b>23,965</b>	<b>26,806</b>	<b>33,593</b>	<b>63,036</b>	<b>84,889</b>	<b>95,488</b>	<b>99,541</b>	<b>105,766</b>	<b>149,979</b>	<b>159,073</b>
長期借入金	536	269	219	25,009	31,500	31,250	25,000	5,014	37,805	37,805
リース債務	—	—	—	2,068	12,130	19,393	27,933	43,872	54,284	65,887
受入入居保証金	—	—	21,099	25,300	27,804	30,152	30,885	32,902	34,375	35,023
繰延税金負債	23	301	668	611	2,411	2,580	2,921	4,251	3,626	560
退職給付引当金	2,598	2,774	2,835	2,980	3,152	3,471	—	—	—	—
役員退職慰労引当金	1,563	1,547	1,405	1,435	202	224	165	179	164	124
退職給付に係る負債	—	—	—	—	—	—	6,708	7,240	7,241	7,173
その他	19,244	21,913	7,364	5,631	7,687	8,415	5,926	12,305	12,480	12,499
<b>負債合計</b>	<b>164,242</b>	<b>174,631</b>	<b>172,983</b>	<b>212,326</b>	<b>237,890</b>	<b>252,780</b>	<b>272,484</b>	<b>293,062</b>	<b>295,660</b>	<b>306,738</b>
<b>純資産の部</b>										
<b>株主資本</b>	<b>200,522</b>	<b>169,746</b>	<b>181,803</b>	<b>194,255</b>	<b>195,976</b>	<b>207,886</b>	<b>214,907</b>	<b>195,146</b>	<b>177,915</b>	<b>172,333</b>
資本金	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600
資本剰余金	29,358	29,358	29,358	29,381	29,358	29,358	29,358	29,358	29,479	29,479
利益剰余金	170,337	152,239	165,372	177,342	176,863	182,935	193,679	173,920	156,571	150,991
自己株式	△12,773	△25,451	△26,527	△26,067	△23,844	△18,007	△21,730	△21,732	△21,735	△21,736
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△1,999</b>	<b>△6,860</b>	<b>△4,967</b>	<b>△7,212</b>	<b>△8,014</b>	<b>△6,538</b>	<b>△5,830</b>	<b>△2,726</b>	<b>△5,106</b>	<b>△4,065</b>
その他有価証券評価差額金	△473	△1,634	88	△17	280	1,183	1,712	2,235	1,363	1,605
為替換算調整勘定	△1,526	△5,226	△5,056	△6,793	△7,855	△7,172	△5,456	△3,468	△3,732	△4,596
在外連結子会社年金債務調整額	—	—	—	△401	△440	△549	—	—	—	—
退職給付に係る調整累計額	—	—	—	—	—	—	△2,086	△1,494	△2,737	△1,073
<b>新株予約権</b>	<b>304</b>	<b>551</b>	<b>667</b>	<b>683</b>	<b>683</b>	<b>458</b>	<b>141</b>	<b>—</b>	<b>41</b>	<b>115</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>3,514</b>	<b>5,059</b>	<b>5,667</b>	<b>5,065</b>	<b>5,543</b>	<b>5,671</b>	<b>5,891</b>	<b>5,472</b>	<b>6,415</b>	<b>6,782</b>
<b>純資産合計</b>	<b>202,342</b>	<b>168,497</b>	<b>183,169</b>	<b>192,793</b>	<b>194,189</b>	<b>207,479</b>	<b>215,109</b>	<b>197,892</b>	<b>179,266</b>	<b>175,166</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>¥366,584</b>	<b>¥343,128</b>	<b>¥356,153</b>	<b>¥405,119</b>	<b>¥432,080</b>	<b>¥460,259</b>	<b>¥487,594</b>	<b>¥490,954</b>	<b>¥474,926</b>	<b>¥481,904</b>

- (注) 1. 「固定負債」の「その他」に含めて表示していた「リース債務」は、負債及び純資産の合計額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。  
 2. 「固定負債」の「その他」に含めて表示していた「受入入居保証金」は、負債及び純資産の合計額の100分の5を超えたため、2010年3月期から区分掲記しています。  
 3. 「企業結合に関する会計基準」等を適用し、2016年3月期より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としています。

# 連結損益計算書

(百万円)

3月31日に終了した会計年度

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>売上高</b>	<b>¥384,514</b>	<b>¥412,711</b>	<b>¥406,602</b>	<b>¥412,828</b>	<b>¥423,706</b>	<b>¥450,182</b>	<b>¥466,399</b>	<b>¥ 463,264</b>	<b>¥444,190</b>	<b>¥430,064</b>
<b>売上原価</b>	<b>192,214</b>	<b>204,148</b>	<b>199,883</b>	<b>203,868</b>	<b>212,071</b>	<b>228,921</b>	<b>243,217</b>	<b>258,707</b>	<b>255,367</b>	<b>251,386</b>
返品調整引当金戻入額	587	555	522	474	448	393	362	343	383	366
返品調整引当金繰入額	555	522	474	448	393	362	343	383	366	341
<b>差引売上総利益</b>	<b>192,331</b>	<b>208,595</b>	<b>206,766</b>	<b>208,986</b>	<b>211,690</b>	<b>221,292</b>	<b>223,201</b>	<b>204,517</b>	<b>188,840</b>	<b>178,702</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>157,449</b>	<b>169,469</b>	<b>168,877</b>	<b>166,118</b>	<b>177,892</b>	<b>183,146</b>	<b>187,371</b>	<b>175,290</b>	<b>177,977</b>	<b>171,016</b>
販売促進費	—	—	—	—	—	—	18,045	20,852	20,663	20,294
ダイレクトメール費	27,345	28,495	30,340	28,268	31,887	31,575	29,269	10,794	14,391	17,804
広告宣伝費	13,474	14,741	13,207	11,344	12,015	12,418	13,729	18,594	14,399	12,543
運賃通信費	19,033	20,280	20,757	20,654	20,698	20,070	19,374	15,830	14,782	14,339
顧客管理費	9,939	11,245	12,007	11,247	12,580	14,350	15,784	18,876	23,406	20,220
給料及び手当	32,403	34,380	34,126	33,164	34,825	36,412	38,200	37,842	37,838	35,246
賞与引当金繰入額	3,195	3,512	3,676	3,479	3,591	3,602	3,545	3,282	2,995	3,235
役員賞与引当金繰入額	295	287	200	196	206	321	329	295	410	300
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	—	2,056	1,995	1,956
退職給付引当金繰入額	719	877	844	1,134	1,203	1,454	1,910	—	—	—
役員退職慰労引当金繰入額	170	166	133	115	65	77	79	42	22	17
貸倒引当金繰入額	595	751	706	691	830	729	947	843	758	818
その他	50,275	54,729	52,876	55,823	59,988	62,132	46,154	45,978	46,311	44,239
<b>営業利益</b>	<b>34,882</b>	<b>39,125</b>	<b>37,889</b>	<b>42,867</b>	<b>33,797</b>	<b>38,145</b>	<b>35,830</b>	<b>29,227</b>	<b>10,862</b>	<b>7,685</b>
<b>営業外収益</b>	<b>3,404</b>	<b>3,219</b>	<b>2,367</b>	<b>3,012</b>	<b>1,917</b>	<b>3,451</b>	<b>2,481</b>	<b>1,794</b>	<b>2,378</b>	<b>2,679</b>
受取利息	1,340	1,372	681	515	423	441	440	472	433	413
受取配当金	171	197	173	124	52	77	85	110	84	129
固定資産賃貸料	451	456	431	452	485	476	486	505	467	378
為替差益	—	—	646	—	—	1,670	94	—	—	—
投資有価証券売却益	—	—	—	513	119	115	191	—	632	577
投資事業組合運用益	—	—	—	—	—	71	535	125	196	68
還付消費税等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	611
持分法による投資利益	81	81	96	527	243	179	164	49	66	128
デリバティブ運用収益	686	749	—	423	—	—	—	—	—	—
その他	672	361	337	455	593	419	483	531	497	370
<b>営業外費用</b>	<b>2,366</b>	<b>3,069</b>	<b>1,091</b>	<b>1,176</b>	<b>1,017</b>	<b>2,601</b>	<b>3,095</b>	<b>4,182</b>	<b>4,508</b>	<b>4,819</b>
支払利息	42	58	64	86	290	868	1,418	2,426	3,219	3,922
固定資産賃貸費用	169	177	164	160	251	237	223	212	186	157
為替差損	1,355	2,002	—	536	131	—	—	279	453	260
デリバティブ運用損失	—	—	517	—	32	1,159	1,067	503	112	—
その他	798	830	344	393	311	336	385	762	537	478
<b>経常利益</b>	<b>35,920</b>	<b>39,276</b>	<b>39,165</b>	<b>44,703</b>	<b>34,698</b>	<b>38,995</b>	<b>35,216</b>	<b>26,838</b>	<b>8,732</b>	<b>5,545</b>
<b>特別利益</b>	<b>196</b>	<b>2,848</b>	<b>1,294</b>	<b>223</b>	<b>550</b>	<b>273</b>	<b>1,998</b>	<b>327</b>	<b>2,506</b>	<b>4,130</b>
固定資産売却益	161	9	1	8	—	48	98	115	2,258	3,623
子会社株式売却益	—	2,737	1,152	117	—	—	1,537	—	—	—
退職給付制度改定益	—	—	—	—	—	—	—	—	248	—
受取損害賠償金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	506
国庫補助金	—	—	114	—	—	—	45	70	—	—
段階取得に係る差益	—	—	—	—	357	—	—	—	—	—
事業譲渡益	—	100	—	80	193	—	—	—	—	—
新株予約権戻入益	—	—	—	—	—	224	317	141	—	—
持分変動利益	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
その他	34	1	23	17	—	—	—	—	—	—
<b>特別損失</b>	<b>5,109</b>	<b>12,141</b>	<b>1,843</b>	<b>8,256</b>	<b>1,192</b>	<b>1,023</b>	<b>4,306</b>	<b>30,642</b>	<b>1,317</b>	<b>875</b>
固定資産除売却損	755	601	491	1,002	1,009	34	44	13	17	8
固定資産圧縮損	—	—	114	—	—	—	44	70	—	—
のれん償却額	—	7,619	—	—	—	—	—	—	—	—
減損損失	2,769	587	33	6,401	79	842	3,190	221	157	867
投資有価証券評価損	225	2,154	17	20	97	38	2	49	353	—
在外連結子会社リストラクチャリング費用	—	—	—	—	—	—	357	1,129	—	—
事業整理損	979	150	1,105	—	—	102	—	792	788	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	—	—	614	—	—	—	—	—	—
システム開発中止に伴う損失	284	—	—	—	—	—	—	—	—	—
訴訟関連損失	52	277	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社整理損	—	—	—	205	—	—	107	—	—	—
事業構造改善費用	—	420	—	—	—	—	550	2,315	—	—
情報セキュリティ対策費	—	—	—	—	—	—	—	26,039	—	—
その他	42	330	81	13	6	6	7	10	—	—
<b>税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)</b>	<b>31,006</b>	<b>29,983</b>	<b>38,615</b>	<b>36,669</b>	<b>34,055</b>	<b>38,245</b>	<b>32,908</b>	<b>△3,475</b>	<b>9,921</b>	<b>8,800</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>15,025</b>	<b>18,652</b>	<b>15,911</b>	<b>15,606</b>	<b>17,109</b>	<b>16,614</b>	<b>12,536</b>	<b>6,474</b>	<b>17,138</b>	<b>4,202</b>
法人税、住民税及び事業税	15,425	20,389	14,548	19,346	16,202	18,120	14,042	6,228	7,099	7,198
法人税等調整額	△400	△1,736	1,363	△3,740	906	△1,505	△1,506	245	10,038	△2,996
<b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>21,063</b>	<b>16,946</b>	<b>21,631</b>	<b>20,372</b>	<b>△9,950</b>	<b>△7,216</b>	<b>4,597</b>
<b>非支配株主に帰属する当期純利益</b>	<b>519</b>	<b>652</b>	<b>829</b>	<b>476</b>	<b>577</b>	<b>483</b>	<b>442</b>	<b>755</b>	<b>994</b>	<b>1,040</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)</b>	<b>¥ 15,462</b>	<b>¥ 10,678</b>	<b>¥ 21,874</b>	<b>¥ 20,586</b>	<b>¥ 16,369</b>	<b>¥ 21,147</b>	<b>¥ 19,930</b>	<b>¥△10,705</b>	<b>¥ △8,211</b>	<b>¥ 3,557</b>

(注) 1. 「営業外収益」の「その他」に含めて表示していた「投資事業組合運用益」は、営業外収益の合計額の100分の10を超えたため、2013年3月期から区分掲記しています。  
 2. 「販売費及び一般管理費」の「その他」に含めて表示していた「販売促進費」は、販売費及び一般管理費の合計額の100分の10を超えたため、2014年3月期から区分掲記しています。

3. 区分掲記していた「営業外費用」の「デリバティブ運用損失」は、重要性が乏しくなったため、2017年3月期から「その他」に含めて表示しています。

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

3月31日に終了した会計年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>¥ 27,483</b>	<b>¥ 38,664</b>	<b>¥ 30,310</b>	<b>¥ 44,937</b>	<b>¥ 40,631</b>	<b>¥ 33,709</b>	<b>¥ 32,295</b>	<b>¥ 27,839</b>	<b>¥ 26,195</b>	<b>¥ 25,237</b>
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	31,006	29,983	38,615	36,669	34,055	38,245	32,908	△3,475	9,921	8,800
減価償却費	11,829	13,600	13,156	13,865	14,396	17,152	17,548	21,225	21,758	20,506
減損損失	2,769	587	33	6,401	79	842	3,190	221	157	867
のれん償却額	—	7,619	—	—	—	—	—	—	—	—
引当金の増減額(△は減少)	939	751	△340	263	484	363	△3,952	△759	△420	196
事業整理損	979	150	1,105	—	—	—	—	792	788	—
子会社株式売却損益(△は益)	—	△2,737	△1,152	△117	—	—	△1,537	—	—	—
事業構造改善費用	—	—	—	—	—	—	550	2,315	—	—
情報セキュリティ対策費	—	—	—	—	—	—	—	26,039	—	—
その他の損益(△は益)	△410	2,247	407	538	604	549	135	3,218	1,291	399
売上債権の増減額(△は増加)	△3,668	2,741	648	△2,348	△497	△1,990	456	257	△1,254	26
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,633	△2,671	△158	△1,375	△2,338	△4,013	△11,497	6,005	7,547	△1,821
未収入金の増減額(△は増加)	△9,485	△6,466	△3,315	△147	△4,963	205	△1,951	7,112	2,836	268
仕入債務の増減額(△は減少)	△495	817	△598	1,211	974	220	2,724	1,891	△7,111	4,242
未払金の増減額(△は減少)	1,368	263	△195	△1,406	4,591	△1,450	2,846	4,323	△6,351	326
前受金の増減額(△は減少)	6,519	3,819	817	976	7,876	△313	3,080	△10,954	△3,796	2,491
前払年金費用の増減額(△は増加)	△328	△120	18	59	146	420	3,816	—	—	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	—	—	—	—	—	△3,446	△819	2,071	△1,324
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	—	—	—	—	—	5,772	△90	—	—
その他の資産、負債の増減額	4,064	3,184	1,675	5,105	4,975	2,325	△1,400	7,830	3,725	900
<b>小計</b>	<b>43,455</b>	<b>53,770</b>	<b>50,717</b>	<b>59,695</b>	<b>60,385</b>	<b>52,558</b>	<b>49,246</b>	<b>65,133</b>	<b>31,164</b>	<b>35,880</b>
利息及び配当金の受取額	1,523	1,593	907	684	536	535	545	631	545	500
利息の支払額	△42	△57	△64	△107	△297	△867	△1,421	△2,422	△3,226	△3,923
事業構造改善費用の支払額	—	—	—	—	—	—	△46	△2,024	—	—
情報セキュリティ対策費の支払額	—	—	—	—	—	—	—	△21,366	—	—
法人税等の支払額	△17,453	△16,642	△21,250	△15,335	△25,876	△18,518	△19,310	△13,865	△6,463	△7,990
法人税等の還付額	—	—	—	—	5,882	—	3,281	1,753	4,177	770
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△15,152</b>	<b>△5,217</b>	<b>△36,449</b>	<b>△14,632</b>	<b>△33,524</b>	<b>△23,012</b>	<b>△24,729</b>	<b>3,048</b>	<b>△26,191</b>	<b>△436</b>
有価証券の取得による支出	△15,074	△66,034	△59,169	△73,627	△56,541	△74,464	△82,221	△24,758	△64,616	△64,014
有価証券の売却による収入	24,939	73,881	55,177	70,435	59,952	72,078	80,031	56,447	53,518	72,427
有形固定資産の取得による支出	△5,727	△7,454	△5,350	△4,973	△5,610	△5,245	△8,434	△6,319	△5,736	△4,325
有形固定資産の売却による収入	227	37	4	53	15	849	1,650	1,429	2,003	7,385
ソフトウェアの取得による支出	△6,547	△6,083	△13,680	△11,768	△10,146	△8,802	△12,563	△12,296	△7,028	△5,938
投資有価証券の取得による支出	△14,688	△4,854	△2,965	△6,054	△6,363	△5,768	△3,997	△2,262	△4,059	△2,146
投資有価証券の売却による収入	9,580	3,878	5,034	11,565	4,498	1,316	2,047	668	1,664	1,175
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△10,259	—	△5,725	—	—	—	△313	△1,179	—	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	—	△1,000	—	—	—	△477	—	—	—
子会社株式の取得による支出	—	—	—	—	△10,683	—	—	—	—	—
子会社株式の売却による収入	—	4,470	—	229	—	—	—	—	—	—
子会社株式(持分)の追加取得による支出	—	—	—	—	△4,006	—	△302	△1,092	—	—
事業譲受による支出	—	△690	—	—	—	—	—	—	—	—
事業譲渡による収入	—	100	—	153	297	—	—	—	—	—
吸収分割による支出	—	—	△1,681	—	—	—	—	—	—	—
定期預金の純増減額(△は増加)	△231	911	△2,510	2,953	△1,918	△1,449	1,775	△3,457	806	△3,511
その他	2,629	△3,378	△4,581	△3,599	△3,018	△1,525	△1,923	△4,132	△2,743	△1,488
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△13,825</b>	<b>△23,261</b>	<b>△11,711</b>	<b>12,923</b>	<b>△11,254</b>	<b>△11,270</b>	<b>△14,514</b>	<b>△13,112</b>	<b>△3,236</b>	<b>△11,994</b>
短期借入金の純増減額(△は減少)	391	440	△722	△970	△197	△269	—	△786	—	—
長期借入れによる収入	—	—	—	25,019	5,000	—	—	5,071	32,805	—
長期借入金の返済による支出	△828	△668	△280	△304	△44	△259	△250	△6,269	△25,027	△9
配当金の支払額	△9,199	△9,065	△8,888	△9,125	△9,315	△9,234	△9,185	△9,137	△9,137	△9,136
ストックオプション権利行使による収入	294	408	337	499	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得による支出	△3,696	△13,264	△1,514	△18	△5,339	△2	△3,723	△3	—	—
子会社の自己株式の取得による支出	△560	△668	△0	△1,117	△0	—	—	—	—	—
リース債務の返済による支出	—	—	—	△799	△1,089	△1,262	△1,431	△1,723	△1,858	△2,155
その他	△224	△443	△642	△258	△267	△242	75	△262	△17	△693
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△94</b>	<b>△4,380</b>	<b>443</b>	<b>△1,712</b>	<b>△601</b>	<b>1,433</b>	<b>2,982</b>	<b>1,343</b>	<b>△1,368</b>	<b>△2,160</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△1,587</b>	<b>5,803</b>	<b>△17,406</b>	<b>41,516</b>	<b>△4,748</b>	<b>859</b>	<b>△3,966</b>	<b>19,119</b>	<b>△4,600</b>	<b>10,645</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>73,365</b>	<b>71,777</b>	<b>77,581</b>	<b>60,174</b>	<b>101,691</b>	<b>96,942</b>	<b>97,802</b>	<b>93,835</b>	<b>112,955</b>	<b>108,355</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>¥ 71,777</b>	<b>¥ 77,581</b>	<b>¥ 60,174</b>	<b>¥ 101,691</b>	<b>¥ 96,942</b>	<b>¥ 97,802</b>	<b>¥ 93,835</b>	<b>¥ 112,955</b>	<b>¥ 108,355</b>	<b>¥ 119,001</b>

(注) 1. 「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた「長期借入れによる収入」及び「リース債務の返済による支出」は、重要性が増したため、2011年3月期から区分掲記しています。  
 2. 「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の損益」及び「たな卸資産の増減額」に含めて表示していた「事業構造改善費用」及び「事業構造改善費用の支払額」は、重要性が増したため、2015年3月期から区分掲記しています。また、この表示方法を反映させるため、2014年3月期の数値を組み替えています。

3. 区分掲記していた「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「退職給付に係る負債の増減額」及び「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「自己株式の取得による支出」は、重要性が乏しくなったため、2016年3月期から「その他」に含めて表示しています。

# 連結セグメント情報

2017年3月期からセグメントを変更しました。2015年3月期及び2016年3月期の数値は、新セグメントに合わせて組み替えたものです。

## セグメント変更前

3月31日に終了した会計年度

	2010	2011	2012	2013	2014	2015
<b>売上高</b>	<b>¥406,602</b>	<b>¥412,828</b>	<b>¥423,706</b>	<b>¥450,182</b>	<b>¥466,399</b>	<b>¥463,264</b>
国内教育事業領域	240,011	240,576	240,178	256,246	253,499	238,815
海外教育事業領域	7,670	9,394	10,830	13,041	17,818	21,006
生活事業領域	30,587	28,260	25,337	22,925	20,938	15,324
シニア・介護事業領域	44,612	58,897	66,539	73,907	79,598	87,271
語学・グローバル人材教育事業領域	53,794	53,989	59,427	61,547	70,830	74,570
その他	29,926	21,709	21,392	22,515	23,713	26,276
<b>営業利益(損失)</b>	<b>37,889</b>	<b>42,867</b>	<b>33,797</b>	<b>38,145</b>	<b>35,830</b>	<b>29,227</b>
国内教育事業領域	38,380	40,619	32,857	37,316	32,489	26,202
海外教育事業領域	△983	△691	△1,343	△1,361	△698	1,367
生活事業領域	△1,524	△473	△1,277	△1,072	△232	△826
シニア・介護事業領域	3,009	4,078	4,668	4,897	5,869	5,610
語学・グローバル人材教育事業領域	313	767	543	568	1,850	2,699
その他	1,212	952	979	1,887	1,084	2,037
調整額	△2,518	△2,385	△2,631	△4,090	△4,532	△7,863

(注) 1. セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。  
2. 各セグメントの営業利益(損失)は、消去又は全社費用を控除する前の数値です。

## セグメント変更後

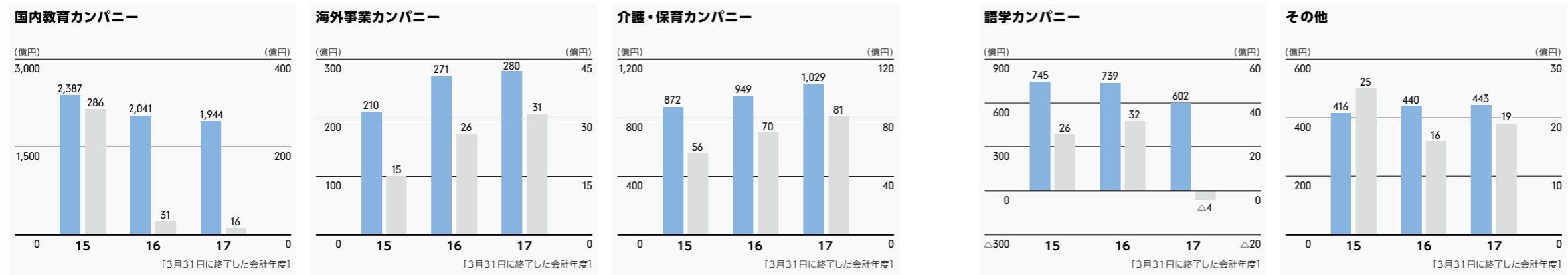
2015年3月期から2017年3月期まで

	2015	2016	2017
<b>売上高</b>	<b>¥463,264</b>	<b>¥444,190</b>	<b>¥430,064</b>
国内教育カンパニー	238,732	204,157	194,406
海外事業カンパニー	21,006	27,114	28,046
介護・保育カンパニー	87,271	94,966	102,996
語学カンパニー	74,570	73,912	60,282
その他	41,683	44,039	44,331
<b>営業利益</b>	<b>29,227</b>	<b>10,862</b>	<b>7,685</b>
国内教育カンパニー	28,664	3,117	1,671
海外事業カンパニー	1,573	2,641	3,136
介護・保育カンパニー	5,610	7,023	8,186
語学カンパニー	2,699	3,234	△479
その他	2,590	1,697	1,996
調整額	△11,910	△6,852	△6,825

(注) 1. セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。  
2. 2017年3月期から、組織変更に伴い、セグメント区分の変更を行いました。2015年3月期及び2016年3月期の数値は、新セグメントに合わせて組み替えたものです。なお、2015年3月期の数値は、未監査の数値です。  
3. 各セグメントの営業利益は、消去又は全社費用を控除する前の数値です。

## セグメント変更後

■ 売上高(左) ■ 営業利益(損失)(右)





	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>「進研ゼミ」4月会員数(国内+海外)</b>	<b>4,300</b>	<b>4,470</b>	<b>4,600</b>	<b>4,680</b>	<b>4,870</b>	<b>4,670</b>	<b>4,570</b>	<b>3,770</b>	<b>3,680</b>	<b>3,810</b>
<b>国内会員数</b>	<b>3,960</b>	<b>4,040</b>	<b>4,080</b>	<b>4,030</b>	<b>4,090</b>	<b>3,850</b>	<b>3,650</b>	<b>2,710</b>	<b>2,430</b>	<b>2,450</b>
高校講座	310	340	340	300	320	310	280	170	150	150
中学講座	750	770	760	740	780	730	690	450	390	400
小学講座	1,660	1,710	1,770	1,800	1,840	1,760	1,660	1,330	1,150	1,160
こどもちゃれんじ	1,240	1,220	1,210	1,180	1,150	1,050	1,020	760	740	740
<b>海外会員数</b>	<b>340</b>	<b>430</b>	<b>520</b>	<b>650</b>	<b>780</b>	<b>820</b>	<b>920</b>	<b>1,060</b>	<b>1,250</b>	<b>1,360</b>
中国	100	150	220	340	480	510	600	730	930	1,080
台湾	170	160	170	170	170	180	180	170	160	150
韓国	70	120	130	140	130	130	140	160	150	130

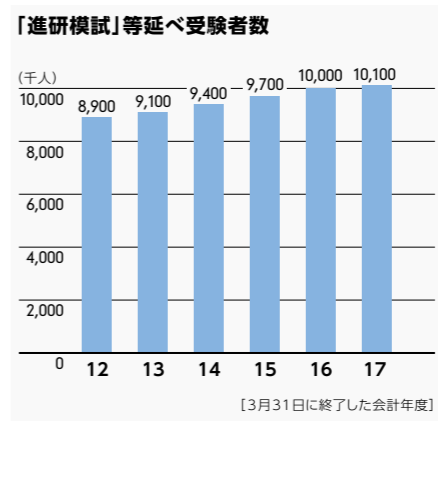
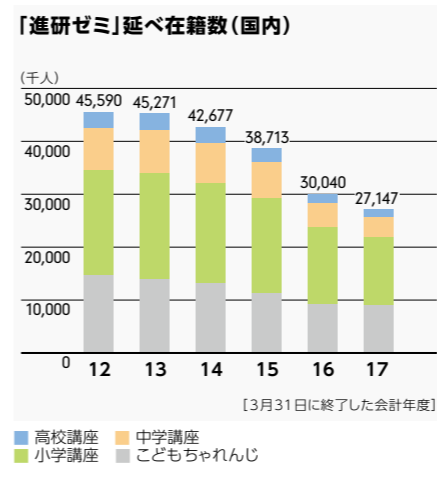
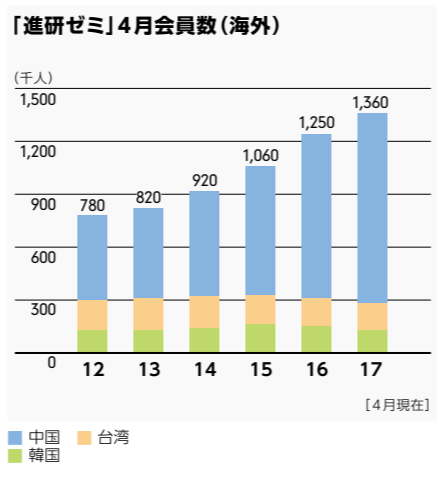
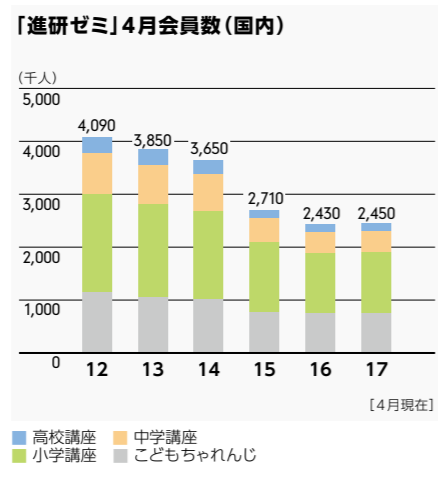
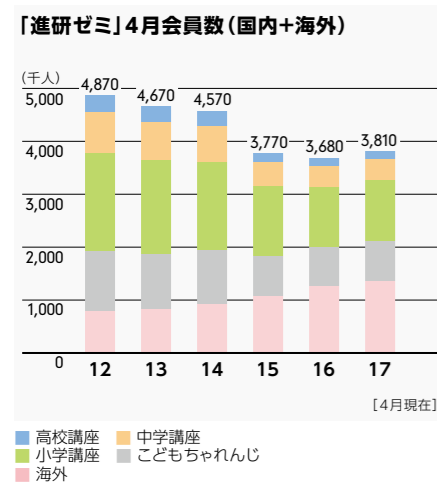
(注) 2014年4月以降の海外会員数には、ライセンス契約に基づく韓国での幼児向け通信教育講座の会員数を含みます。

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>「進研ゼミ」延べ在籍数(国内)</b>	<b>43,413</b>	<b>43,900</b>	<b>45,512</b>	<b>45,935</b>	<b>45,590</b>	<b>45,271</b>	<b>42,677</b>	<b>38,713</b>	<b>30,040</b>	<b>27,147</b>
高校講座	3,060	3,279	3,418	3,428	3,150	3,188	3,052	2,698	1,765	1,476
中学講座	7,903	7,967	8,113	7,923	7,925	8,058	7,583	6,838	4,416	3,855
小学講座	17,733	18,395	18,911	19,540	19,906	20,092	18,973	17,845	14,667	12,768
こどもちゃれんじ	14,716	14,257	15,068	15,042	14,608	13,931	13,067	11,330	9,189	9,047

(注) 1. 延べ在籍数は、各年4月から3月までの月次在籍数の累計です。  
 2. 2011年3月期から、「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数に「こどもちゃれんじbaby」の延べ在籍数を含んでおり、2010年3月期の数値も遡って修正しています。  
 なお2010年3月期及び2011年3月期における「こどもちゃれんじbaby」の延べ在籍数はそれぞれ125万人、133万人です。

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>「進研模試」等延べ受験者数</b>	<b>7,300</b>	<b>7,700</b>	<b>8,100</b>	<b>8,400</b>	<b>8,900</b>	<b>9,100</b>	<b>9,400</b>	<b>9,700</b>	<b>10,000</b>	<b>10,100</b>

(注) 「進研模試」等延べ受験者数は、過去に遡って「進研模試」「スタディーサポート」「進路マップ」等の受験者数を集計し直しています。



(千レッスン)

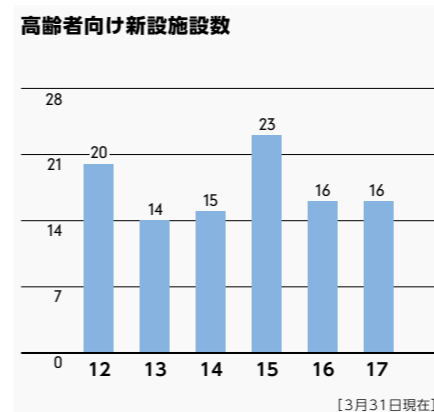
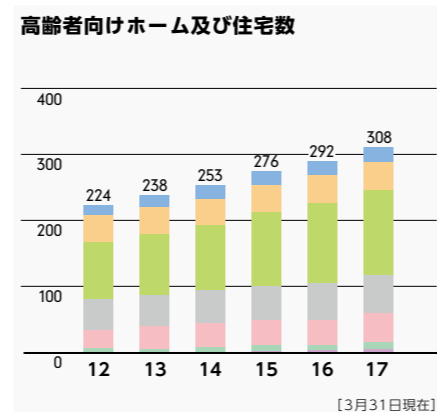
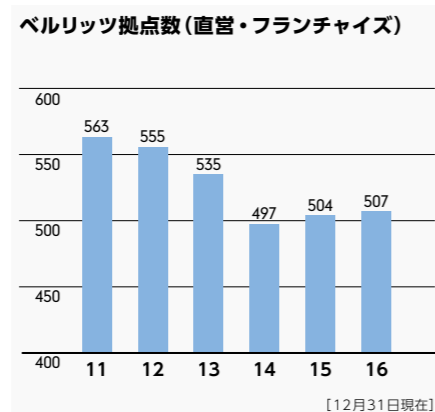
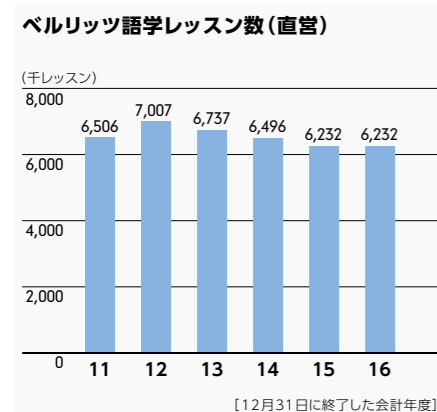
12月31日に終了した会計年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
<b>ベルリッツ語学レッスン数(直営)</b>	<b>7,145</b>	<b>7,256</b>	<b>6,216</b>	<b>6,038</b>	<b>6,506</b>	<b>7,007</b>	<b>6,737</b>	<b>6,496</b>	<b>6,232</b>	<b>6,232</b>
北米	966	906	756	740	—	—	—	—	—	—
ラテンアメリカ	1,462	1,453	1,174	1,214	—	—	—	—	—	—
アメリカズ	—	—	—	1,954	2,058	2,035	1,921	1,803	1,674	1,569
ヨーロッパ	2,647	2,844	2,649	2,453	2,727	3,177	3,093	3,006	2,931	3,081
アジア	2,068	2,051	1,636	1,630	1,720	1,793	1,723	1,685	1,626	1,581

(注) 1. 2011年8月にベルリッツ コーポレーションの子会社となったテレラング社において、顧客との契約期間終了時に未受講分を一括して語学レッスン数に含めておりましたが、同社の語学レッスン数を集計する管理基盤が整ったことから、2014年12月期から、契約期間終了時の未受講レッスンを上記ヨーロッパ、及び合計の語学レッスン数から除いて表示しており、2013年12月期の数値も遡って修正しています。  
 なお、2014年12月期、及び2013年12月期から除いた同社の語学レッスン数は、それぞれ63千レッスン、及び100千レッスンです。  
 2. 2011年12月期から、「北米」と「ラテンアメリカ」を合わせて「アメリカズ」へ変更しています。

12月31日現在	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
<b>ベルリッツ拠点数(直営・フランチャイズ)</b>	<b>557</b>	<b>561</b>	<b>567</b>	<b>570</b>	<b>563</b>	<b>555</b>	<b>535</b>	<b>497</b>	<b>504</b>	<b>507</b>
ベルリッツ(直営)	385	380	379	375	374	370	345	307	305	304
ベルリッツ(フランチャイズ)	92	101	108	111	112	108	112	113	120	125
ELS(直営)	46	49	51	57	61	64	64	66	69	70
ELS(フランチャイズ)	34	31	29	27	16	13	14	11	10	8

3月31日現在	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>高齢者向けホーム及び住宅数</b>	<b>129</b>	<b>139</b>	<b>172</b>	<b>204</b>	<b>224</b>	<b>238</b>	<b>253</b>	<b>276</b>	<b>292</b>	<b>308</b>
アリア	11	11	12	15	16	18	20	21	21	22
くらら	37	39	40	40	40	40	40	41	42	42
グラニー&グランダ	51	59	67	77	87	92	99	112	122	130
まどか	30	30	31	43	46	48	49	52	55	57
ボンセジュール	—	—	22	29	31	34	37	38	39	43
こごち	—	—	—	—	4	6	8	11	11	12
リレ	—	—	—	—	—	—	—	1	2	2
<b>新施設設数</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>25</b>	<b>20</b>	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>23</b>	<b>16</b>	<b>16</b>
<b>承継施設設数</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>22</b>	<b>7</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>

(注) 1. 2012年4月1日付で、(株)ベネッセスタイルケアと(株)ボンセジュールは、(株)ベネッセスタイルケアを存続会社として合併しました。(株)ボンセジュールの決算日が2月末日であったため、2012年3月期以前の「ボンセジュール」「こごち」は、2月末日の数値を集計しています。  
 2. 新施設設数には、統廃合による減少施設設数を含めています。



# 連結経営指標

3月31日に終了した会計年度

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
<b>収益性:</b>										
売上高営業利益率(%)	9.1	9.5	9.3	10.4	8.0	8.5	7.7	6.3	2.4	1.8
売上高当期純利益率(%)	4.0	2.6	5.4	5.0	3.9	4.7	4.3	△2.3	△1.8	0.8
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	7.8	5.9	12.9	11.3	8.7	10.9	9.7	△5.3	△4.5	2.1
総資産当期純利益率(ROA)(%)	4.3	3.0	6.3	5.4	3.9	4.7	4.2	△2.2	△1.7	0.7
従業員1人当たり営業利益(千円)	2,528	2,656	2,467	2,538	1,784	1,932	1,791	1,450	527	365
従業員1人当たり当期純利益(千円)	1,120	725	1,424	1,219	864	1,071	996	△531	△398	169
従業員数(名)	13,796	14,726	15,353	16,888	18,941	19,739	20,005	20,145	20,607	21,022

## 成長性:

売上高増減率(%)	8.4	7.3	△1.5	1.5	2.6	6.2	3.6	△0.7	△4.1	△3.2
営業利益増減率(%)	11.4	12.2	△3.2	13.1	△21.2	12.9	△6.1	△18.4	△62.8	△29.2
当期純利益増減率(%)	△15.2	△30.9	104.8	△5.9	△20.5	29.2	△5.8	—	—	—

## 安全性:

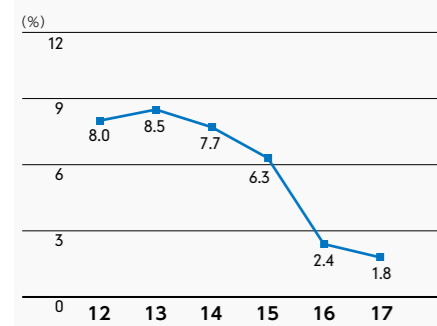
流動比率(%)	125.4	121.7	128.9	156.4	150.3	158.1	151.9	134.2	167.2	169.8
固定比率(%)	94.2	96.9	96.3	89.0	104.1	102.0	104.5	121.1	129.0	131.9
自己資本比率(%)	54.2	47.5	49.7	46.2	43.5	43.7	42.9	39.2	36.4	34.9
手元流動性(ヵ月)	2.9	2.5	2.5	3.0	3.5	3.4	3.4	3.4	3.6	3.9
有利子負債比率(%)	1.2	1.6	2.4	9.0	19.7	25.0	27.5	33.9	46.4	58.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	848.4	697.5	597.2	504.4	118.0	44.5	25.6	12.3	3.5	2.1

## 1株当たり情報:

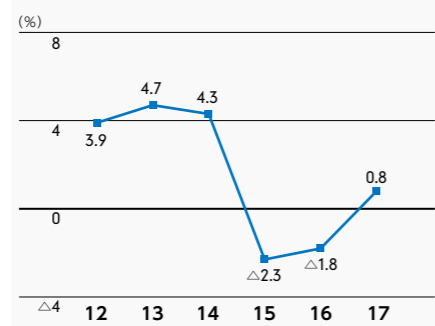
当期純利益又は当期純損失(△)(円)	151.54	106.98	221.65	208.47	167.79	217.54	206.79	△111.30	△85.37	36.98
配当金(円)	90	90	90	95	95	95	95	95	95	95
配当性向(%)	59.4	84.1	40.6	45.6	56.6	43.7	45.9	—	—	256.9

- (注) 1. 自己資本当期純利益率(ROE)及び総資産当期純利益率(ROA)は、期中平均自己資本及び期中平均総資産に基づき算出しています。  
 2. 手元流動性=(期中平均現金+期中平均有価証券)÷月平均売上高  
 3. 有利子負債比率=期中平均有利子負債残高÷期中平均自己資本×100  
 4. インタレスト・カバレッジ・レシオ=(営業利益+受取利息+受取配当金)÷支払利息  
 5. 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)は、期中平均株式数に基づき算出しています。

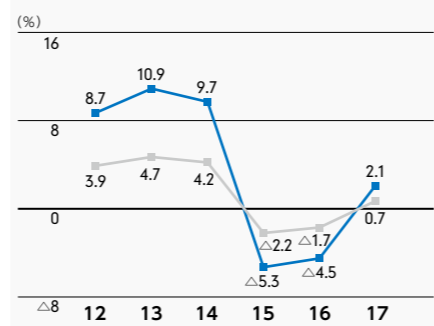
売上高営業利益率



売上高当期純利益率

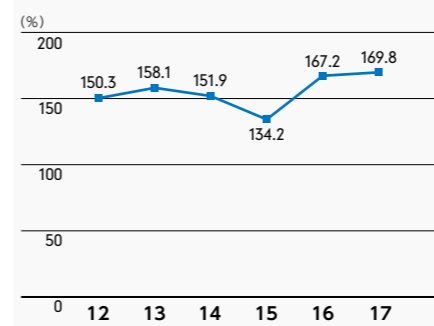


ROE/ROA

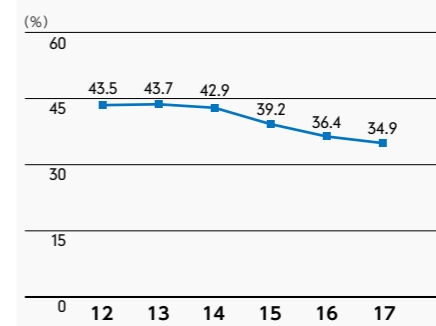


— ROE  
— ROA

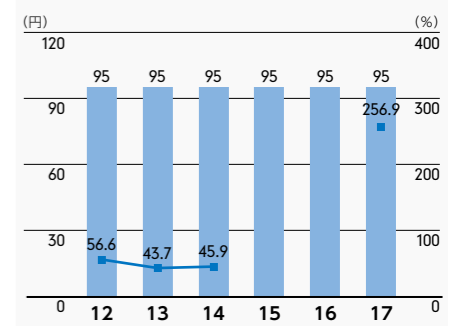
流動比率



自己資本比率



1株当たり配当金/配当性向



■ 1株当たり配当金(左)  
— 配当性向(右)

【人財】

ベネッセコーポレーション従業員・管理職等に占める女性比率

各年4月時点／正社員

	2013		2014		2015		2016		2017	
	男性 女性	女性比率	男性 女性	女性比率	男性 女性	女性比率	男性 女性	女性比率	男性 女性	女性比率
従業員数	1,290 1,514	54%	1,141 1,476	56%	1,233 1,426	54%	1,046 1,297	55%	997 1,266	56%
課長層	193 115	37%	210 92	30%	177 81	31%	171 81	32%	150 71	32%
部長層	55 14	20%	33 5	13%	35 12	26%	53 16	23%	50 19	28%
役員	7 3	30%	4 2	33%	5 2	29%	7 2	22%	9 2	18%

ベネッセグループ障害者雇用率

各年3月1日時点

	2013	2014	2015	2016	2017
障害者雇用率	2.04%	2.32%	2.33%	2.11%	2.23%

※「障害者雇用率制度」適用グループ企業の障害者雇用率

※2016年3月はグループ適用範囲を拡大した関係で一時的に雇用率が低下していますが、今後も積極的に雇用率を高める予定です。

ベネッセスタイルケア／ベネッセコーポレーション育児休職開始者数・復職者数

各年3月期

	2013		2014		2015		2016		2017
	休職 開始者数	復職者数 (率)	休職 開始者数	復職者数 (率)	休職 開始者数	復職者数 (率)	休職 開始者数	復職者数 (率)	休職 開始者数
ベネッセスタイルケア (正社員、契約社員、 準常勤スタッフ)	76	62 (81.5%)	110	83 (75.5%)	148	117 (79.1%)	156	129 (87.1%)	166
ベネッセコーポレーション (正社員、特定職社員、 契約社員)	100	87 (87.0%)	95	83 (87.4%)	104	93 (89.4%)	94	82 (87.2%)	94

※復職者：各社の制度上の休職期限までに復職した者

育児時短取得者数

各年4月時点

	2013	2014	2015	2016	2017
ベネッセスタイルケア (正社員、契約社員、準常勤スタッフ)	53	79	110	137	137
ベネッセコーポレーション (正社員、特定職社員、契約社員)	113	131	108	152	128

ベネッセスタイルケア保育手当支給人数

各年4月時点(2015年より5月時点)

	2013	2014	2015	2016	2017
支給人数	168	207	232	258	314

【環境】

	単位	2013	2014	2015	2016	2017
電力使用量	万kWh	866	940	901	792	791
紙使用量	t	94,334	86,286	62,992	60,060	54,166
水使用量	m³	59,110	55,002	60,254	60,340	58,293
CO <sub>2</sub> 排出量	t	4,202	5,282	5,471	4,717	4,787
廃棄物(紙)排出量	t	2,268	2,514	2,907	2,850	2,217
廃棄物(産業廃棄物)排出量	t	1,002	1,028	994	971	609

\*電力及び水使用量は、岡山本社、東京本部及びベネッセ・ロジスティクス・センターの数値を集計しています。

\*紙使用量は、オフィス使用を除いて集計しています。

\*CO<sub>2</sub>排出量は、電力分のみ集計しています。

\*廃棄物(紙)排出量は通信教育事業、通信販売事業に関わる数値を集計しています。

\*廃棄物(産業廃棄物)排出量は、岡山本社、東京本部、物流拠点(岡山、神奈川、埼玉、群馬)分で算出しています。

ベネッセコーポレーションは、2014年3月期を基準年度とし、以下の通り、温室効果ガスの排出量の中長期的な削減目標を立てています。

	毎年	2031	2051
2014年3月期を100%とした場合の削減率	2.1%以上	31%	55%

\*上記削減目標は、スコープ1、スコープ2、スコープ3を対象としています。

スコープ1：ベネッセ自らによる温室効果ガスの直接排出

スコープ2：他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

スコープ3：ベネッセのバリューチェーンからの排出

\*スコープ3の対象カテゴリ：カテゴリ1(購入した製品・サービス)、4・9(輸送・配送 上流・下流)、5(事業から出る廃棄物)、6(出張)、7(雇用者の通勤)、8(リース資産)、11(販売した製品の使用)、12(販売した製品の廃棄)

\*対象組織範囲：ベネッセコーポレーションの国内及び台北支社の11事業所

単位:t-CO <sub>2</sub>	2014(基準年度)	2016(報告年度)		基準年度からの 削減率	報告年度の 目標達成率
		目標	実績		
スコープ1	11,025		162		
スコープ2	9,352		9,234		
スコープ3	24,471,911	23,463,612	9,698,772	60.4%	141.4%
スコープ1、2、3合計	24,492,288		9,708,167		

【第三者検証】

当社は、CO<sub>2</sub>排出量実績の信頼性向上のため、2016年3月期数値において、スコープ1およびスコープ2とスコープ3のうちのカテゴリ1(購入した製品・サービス)、4・9(輸送・配送 上流・下流)、5(事業から出る廃棄物)、6(出張)、7(雇用者の通勤)、8(リース資産)、11(販売した製品の使用)、12(販売した製品の廃棄)について、一般財団法人日本品質保証機構による第三者検証を受けています。

国内教育

1. 事業概要

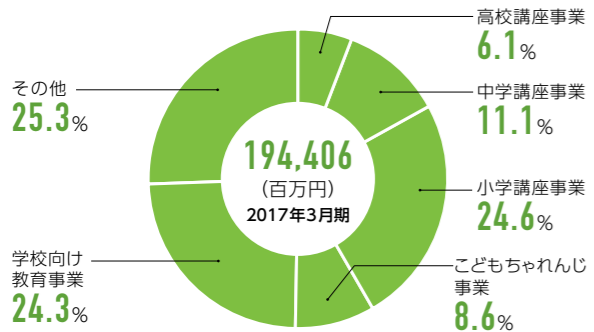
国内教育は、ベネッセグループ全体の売上高の45.2%を占める基幹事業です。主力商品である「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」は、幼児から高校生を対象とした通信教育講座で、対象人口の約13%が受講しています。紙の教材、タブレット端末をはじめとしたデジタル教材に、赤ペン先生などによる人のサポートを組み合わせて個別対応力や双方向性を高めることで、多様化・個別化する顧客ニーズにきめ細かく対応できる商品・サービスの開発を進めています。このほかにも、高校を対象とした大学入試模擬試験「進研模試」、学習・進路支援教材「スタディーサポート」などを提供しています。また、子どもたちの学習スタイルやニーズの多様化に対応し、学習塾、幼児・小学生向け英語教材、及び子ども向け英語教室など、さまざまな教育サービスを提供しています。

事業別売上高内訳  
(百万円)

	2016年 3月期	2017年 3月期	増減	増減率 (%)
高校講座事業	14,864	11,930	△2,933	△19.7
中学講座事業	24,328	21,544	△2,783	△11.4
小学講座事業	55,459	47,895	△7,563	△13.6
こどもちゃれんじ事業	16,996	16,757	△238	△1.4
小計	111,648	98,128	△13,519	△12.1
学校向け教育事業	46,083	47,152	1,068	2.3
その他	46,425	49,125	2,700	5.8
国内教育計	204,157	194,406	△9,750	△4.8

事業別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。

事業別売上高構成比



「進研ゼミ」

「進研ゼミ」は、ベネッセコーポレーションが提供する通信教育講座です。家庭学習用教材で、学校の授業の予習・復習や受験対策など、会員は各自の目的に合わせて教材を利用することができます。「進研ゼミ」の教材と添削問題は、月に一度、会員の手元へ郵送で届けられます\*。会員は、送られてきた課題を期限内に終え、添削指導を行う赤ペン先生に提出します。「進研ゼミ」の強みの一つは、会員一人ひとりに個別対応している点です。会員は、学校で使用している教科書や自分の学習ペース、学習レベル、地域、あるいは志望校に合わせて学習することが可能です。

\*専用タブレット端末を中心に学習を進める講座は内容が異なります。

「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」

	2016年4月		2017年4月	
	会員数 (万人)	シェア* (%)	会員数 (万人)	シェア* (%)
高校講座	15	4.1	15	4.3
中学講座	39	11.2	40	11.8
小学講座	115	18.0	116	18.2
こどもちゃれんじ	74	14.0	74	14.0
合計	243	12.9	245	13.2

2017年3月期	
1人当たりの 月平均単価(円)	
高校講座	8,083
中学講座	5,589
小学講座	3,751
こどもちゃれんじ	1,852
合計	3,615

\*シェアは、対象人口に占める会員数の割合  
なお、2016年4月のシェアは、2015年国勢調査の数字を基に算出し直しています。

「進研模試」

ベネッセコーポレーションでは、高校生を対象とした大学入試模擬試験「進研模試」を提供しています。また、このほかにも、生徒が最良の進路を選択するための進路支援教材「スタディーサポート」などを提供しており、全国の高校の約90%と取引があります。

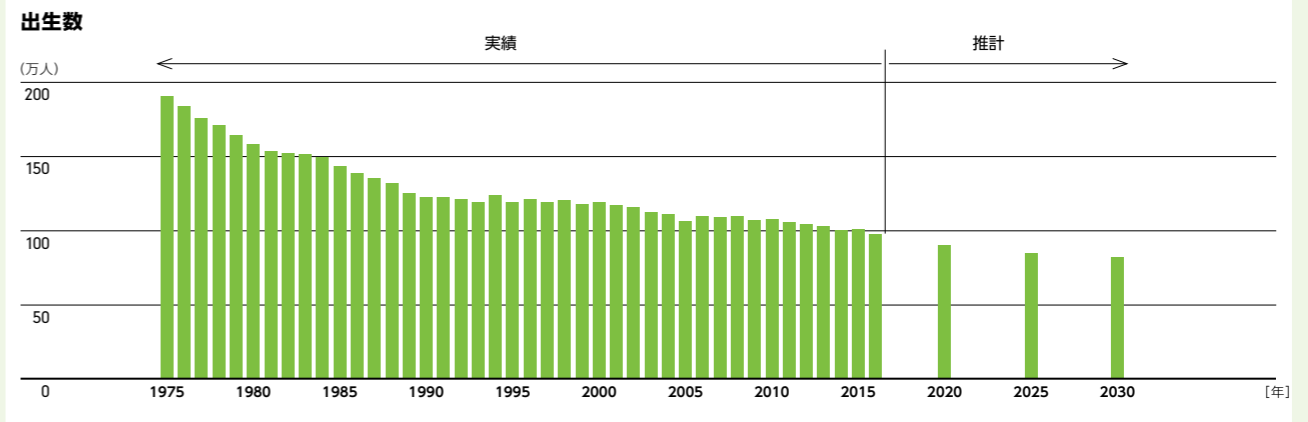
2. 市場の動向

国内の年間出生数は1975年に200万人を割り込んで以来、減少傾向にあり、2016年はピーク時の約半分の97万人となりました。今後も少子化は進行し、年間出生数は年平均2%程度減少が見込まれています。

少子化の一方、2015年度の校外学習市場は1兆4,716億円と2010年度並みの市場規模を維持しています。同市場の対象範囲には、学習塾・予備校や通信教育、家庭教師

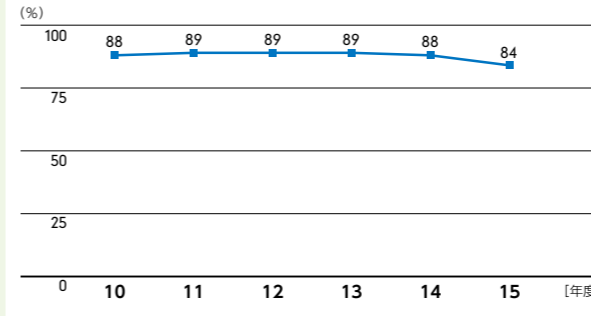
派遣、学習参考書などの補助教材、及び幼児教育などが含まれます。

2015年度の通信教育(未就学児向け/小学生から高校生向け)の市場規模は1,323億円で、校外学習市場の9.0%を占めています。また、通信教育市場におけるベネッセのシェアは、2015年度に84%と高水準です。校外学習市場において65.0%を占める規模の大きな市場である学習塾・予備校の2015年度の市場規模は、9,570億円です。



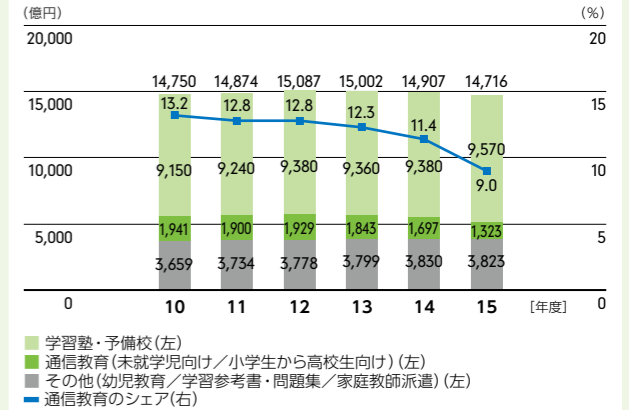
出所：2016年までは厚生労働省「人口動態統計」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2017年1月推計)」

通信教育市場におけるベネッセのシェアの推移



注：通信教育市場は、未就学児向け、及び小学生から高校生向けの合算値  
出所：(株)矢野経済研究所「教育産業白書2016年版」をもとに当社算出、作成

校外学習市場の推移



出所：(株)矢野経済研究所「教育産業白書2016年版」をもとに当社算出、作成

### 3. 2017年3月期の業績概況

国内教育の売上高は、1,944億6百万円と、前期比4.8%の減収となりました。

減収の主な要因は、主力の通信教育講座「進研ゼミ」

「こどもちゃれんじ」の2017年3月期の延べ在籍数が減少したことです。

営業利益は、コスト削減に伴う増益などがあったものの、減収による減益などにより、16億7千1百万円と、前期比46.4%の減益となりました。

## FAQ (よくあるご質問)

### Q1.

「進研ゼミ」の4月会員数と延べ在籍数の違いは？

### A1.

4月会員数は、「進研ゼミ」の4月号教材を受け取った会員数で、延べ在籍数は、4月から翌年3月までの間に「進研ゼミ」の教材を受け取った会員数の累計です。

### Q2.

「進研ゼミ」の高校講座の会員数が中学講座に比べて大幅に減少するのはなぜ？

### A2.

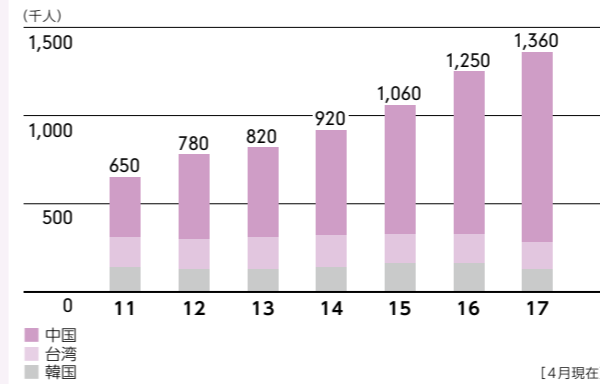
現在、日本における高校への進学率\*は約99%ですが、そのうち大学や短大に進学する生徒(過年度卒含む)は約57%です。このため、大学受験に備えて「進研ゼミ」を受講する高校生の数も、高校受験をする中学生に比べて、大幅に減少します。

\*出所：文部科学省「平成28年度学校基本調査」

### 1. 事業概要

海外事業は、ベネッセグループ全体の売上高の6.5%を占めています。現在、中国、台湾で幼児向けを中心とした通信教育事業を行っており、順調に会員数を伸ばしています。2017年4月時点の海外通信教育講座の会員数は、中国108万人、台湾15万人、韓国13万人(ライセンス契約)で、合計136万人です。

#### 海外4月会員数



\*2014年4月以降の海外会員数にはライセンス契約に基づく韓国での幼児向け通信教育講座の会員数を含みます。

### 2. 市場の動向

中国の2015年の出生数\*は1,655万人と、日本の同年の出生数(100万人)の約17倍という巨大な市場です。また、2016年より1979年から続いた人口抑制の国策「一人っ子政策」は正式に廃止されました。この決定により中国の年間出生数は増加するとみられています。

\*出所：総務省統計局「世界の統計2017」

### 3. 2017年3月期の業績概況

海外事業の売上高は、280億4千6百万円と、前期比3.4%の増収となりました。

増収の主な要因は、円高による為替換算時のマイナス影響があったものの、中国での通信教育講座の延べ在籍数が増加したことです。

営業利益は、円高による為替換算時のマイナス影響があったものの、増収による増益などにより、31億3千6百万円と、前期比18.8%の増益となりました。

## FAQ (よくあるご質問)

\*文中のベネッセはベネッセグループのことを表します。

### Q1.

中国で展開している講座の対象年齢と単価は？

### A1.

中国では、0歳から8歳(小学2年生)までを対象とした講座を展開しており、単価は約125円/月です。また、2017年4月時点における中国での会員数は、0歳から8歳までの合計で108万人です。

### Q2.

中国での事業はベネッセ単独で展開？

### A2.

ベネッセは、2006年度より、日本で展開する幼児向け通信教育講座「こどもちゃれんじ」の中国版にあたる「楽智小天地」の事業展開を行ってきました。「楽智小天地」は、現地パートナーである中国福利会傘下の中国中福会出版社にてライセンス出版をしています。

1. 事業概要

介護・保育は、ベネッセグループ全体の売上高の24.0%を占め、国内教育に次ぐ第二の基幹事業です。ベネッセスタイルケアを中心に入居介護サービス事業（高齢者向けホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の運営）、在宅介護サービス事業、保育園・学童運営事業などを行っています。

高齢者向けホーム及びサービス付き高齢者向け住宅

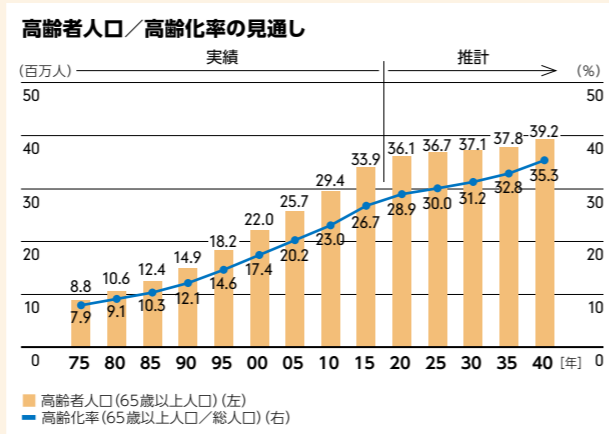
ベネッセのホームでは、入居された高齢者の食事などの介護や日々の生活に必要な支援を行っており、介護保険の認可を受けている特定施設入居者生活介護を中心に運営しています。また、ベネッセでは、価格帯やサービス内容がそれぞれ異なる7つのシリーズを展開し、お客様の幅広いニーズに対応しています。

2. 市場の動向

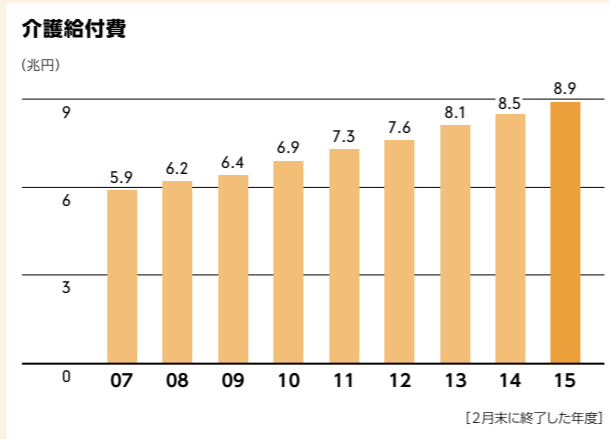
高齢化の進行に伴い、介護を必要とする方も増加を続けており、高齢者の介護問題を解決するために、2000年に社会保険方式を採用した介護保険制度が施行されました。以降、国内の介護市場\*1は急速に拡大しており、2014年度の介護給付費は、前年度比4.6%増加して8.9兆円、2016年4月時点の介護保険サービス受給者数は、前年比42万人、8.3%増加の554万人となりました。

65歳以上の高齢者が全人口に占める割合\*2は、2016年時点で前年比0.6ポイント増加の27.3%と高齢化が急速に進行しています。この傾向は続き、2025年には高齢化率が30%に達する見込みです。

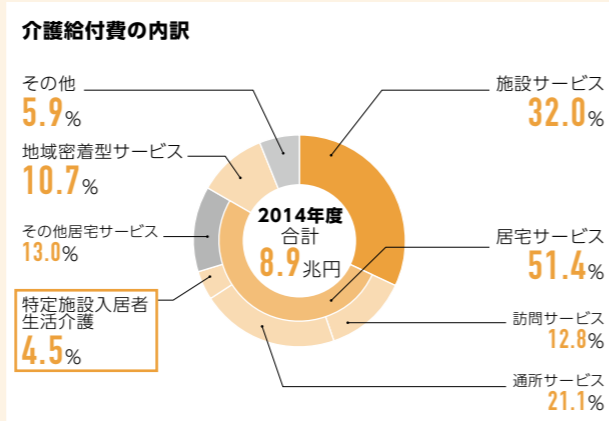
\*1 出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」  
\*2 出所：総務省統計局「人口推計（2016年10月1日現在）」



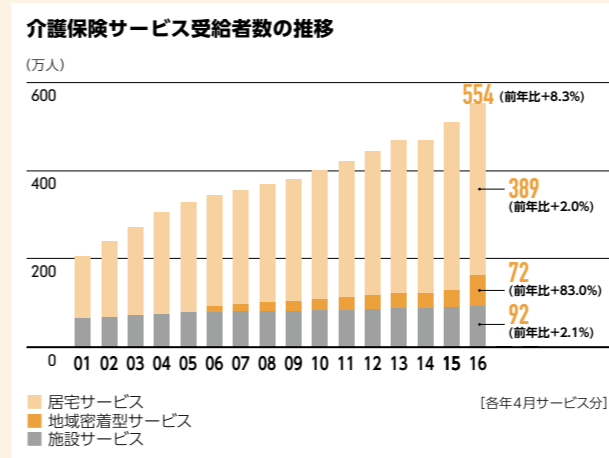
出所：2015年までは総務省統計局「人口推計」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（2017年1月推計）」



出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」



出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」



語学

1. 事業概要

語学は、ベネッセグループ全体の売上高の14.0%を占めています。米国子会社のベルリッツ コーポレーションは、世界70以上の国と地域に507のランゲージセンターを有する世界最大級の語学・グローバル人材育成企業です。

ベルリッツ 地域別拠点数

地域	ベルリッツ	ELS	合計
アメリカズ	137	68	205
ヨーロッパ	208	3	211
アジア	84	7	91
合計	429	78	507

\*フランチャイズを含みます。

[2016年12月末現在]

とを背景に総額は徐々に減少しています。

一方、世界の留学生市場\*2は、2011年に304万人であった留学生数が2024年には385万人と、中国、インド、及びその他新興国からの留学生の増加を背景に年率1.8%増での成長が見込まれています。

\*1 出所: Ambient Insight [The 2015-2020 Worldwide Digital English Language Learning Market]

\*2 出所: Education intelligence, British Council [The Future of the World's Mobile Students to 2024]

3. 2017年3月期の業績概況

語学の売上高は、602億8千2百万円と、前期比18.4%の減収となりました。

減収の主な要因は、サウジアラビアからの留学生の減少などによるベルリッツ コーポレーションのELS事業(留学支援事業)の減収、及び円高による為替換算時のマイナス影響です。

利益面では、減収による減益などにより、4億7千9百万円の営業損失(前期は32億3千4百万円の営業利益)となりました。

2. 市場の動向

2015年の世界の語学学習市場\*1は541億米ドルと対2013年比3.9%減少しました。インターネットなどの技術を活用した低価格の商品・サービスの利用が進んでいるこ

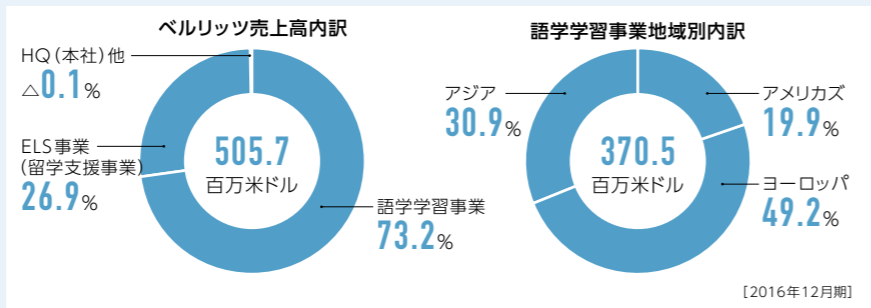
FAQ (よくあるご質問)

Q1.

ベルリッツの売上高の内訳は?

A1.

売上高の内訳は以下のとおりです。



Q2.

地域別のレッスン数は?

A2.

ベルリッツ直営拠点のレッスン数の地域別構成は以下のとおりです。

地域	2015年12月期	2016年12月期	増減率
アメリカズ	1,674	1,569	△6.3%
ヨーロッパ	2,931	3,081	5.1%
アジア	1,626	1,581	△2.8%
合計	6,232	6,232	0.0%

発行済株式総数:

102,453,453株

上場日:

1995年10月26日

上場証券取引所(普通株式):

東京証券取引所 市場第一部

証券コード:

9783

ISINコード:

JP3835620000

単元株式数:

100株

会計監査人:

有限責任監査法人トーマツ

株主名簿管理人:

三菱UFJ信託銀行(株)

株主数:

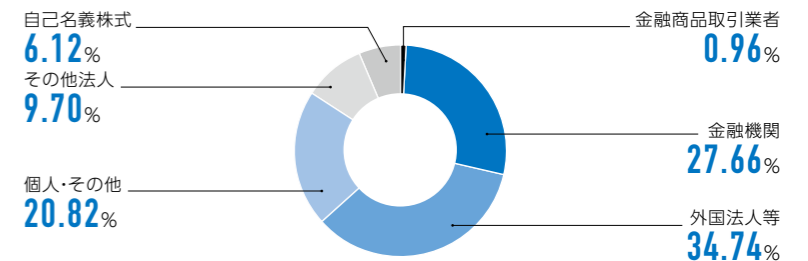
43,536名

大株主(上位10名):

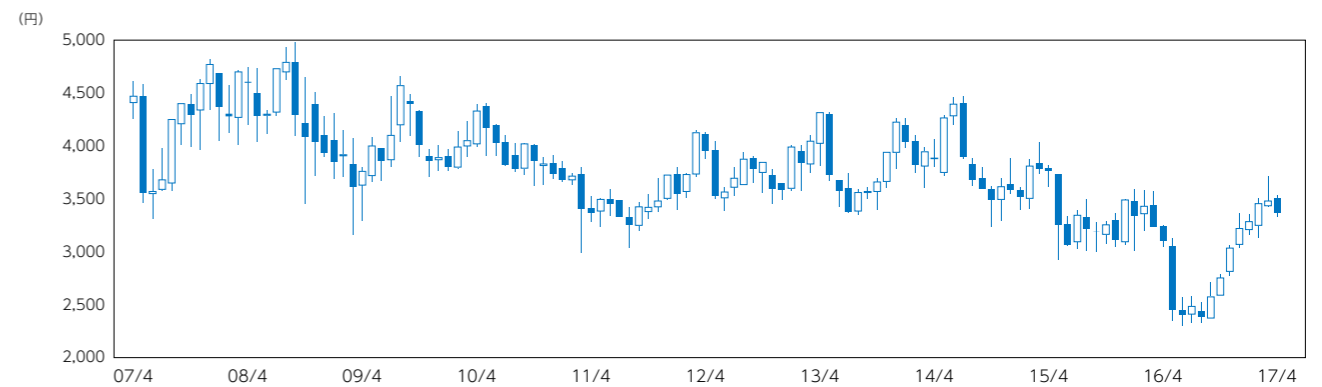
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)	10,910	11.34
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	9,646	10.02
efu Investment Limited	7,858	8.16
(公財)福武財団	5,008	5.20
JP MORGAN CHASE BANK	4,781	4.97
(株)中国銀行	2,787	2.89
福武純子	2,155	2.24
(株)南方ホールディングス	1,836	1.90
STATE STREET BANK WEST CLIENT	1,830	1.90
福武信子	1,769	1.83

(注)1. 日本マスタートラスト信託銀行(株)の持株数には、福武英明氏が代表を務める資産管理及び投資活動目的の法人であるefu Investment Limitedが信託財産として拠出している当社株式6,809千株(持株比率7.07%)を含み、委託された信託財産の議決権行使に関する指図者は、efu Investment Limitedです。  
2. 当社は自己株式6,265千株を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

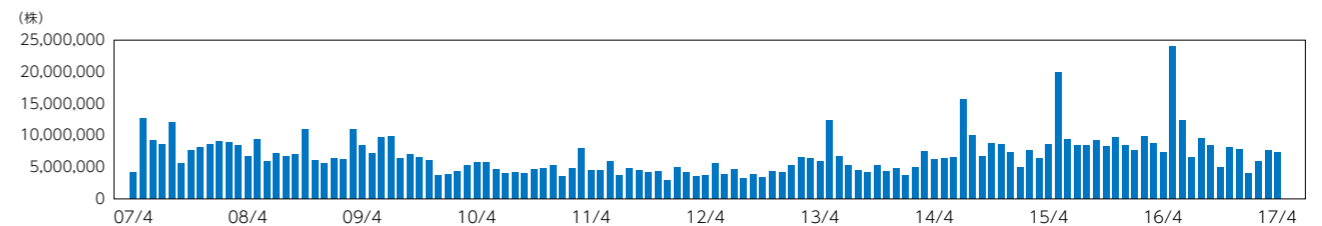
所有者別株式分布状況:



株価推移:



出来高:



\*2013年7月16日までは、大阪証券取引所における株価、出来高。2013年7月16日付で東京証券取引所と大阪証券取引所が統合したことに伴い、同日以降は、東京証券取引所における株価、出来高。



# 会社情報

## 会社概要： (2017年3月31日現在)

社名(商号)  
株式会社ベネッセホールディングス  
(英文社名)Benesse Holdings, Inc.

設立  
1955年1月28日

本社所在地  
〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17  
TEL:086-225-1165(代表)

代表者  
代表取締役社長 安達 保  
(2017年6月24日現在)

従業員数  
連結21,022人

資本金  
13,600百万円

決算日:  
3月31日

## 役員一覧： (2017年6月24日現在)

取締役  
代表取締役社長 安達 保  
取締役会長\*1\*3 岩田 眞二郎  
代表取締役副会長 福原 賢一  
代表取締役副社長 小林 仁  
取締役 滝山 真也  
取締役 山崎 昌樹  
取締役\*1\*3 辻村 清行  
取締役\*1 福武 英明  
取締役\*1\*3 安田 隆二  
取締役\*1\*3 栗山 信雄

監査役  
常勤監査役 松本 芳範  
常勤監査役 桜木 君枝  
監査役\*2 出雲 栄一  
監査役\*2 石黒 美幸

\*1 社外取締役  
\*2 社外監査役  
\*3 独立役員

## 連結子会社一覧： (2017年3月31日現在)

名称	資本金又は出資金 (百万円)	議決権の 所有割合(%)	主な事業内容
(株)ベネッセコーポレーション	3,000	100.0	校外学習事業、学校向け教育事業、出版事業、通信販売事業
(株)アップ	1,667	100.0	進学指導、科学実験教室、英会話指導などの教室運営
(株)東京個別指導学院	642	61.9	個別指導教育を中心とした学習塾事業
(株)ベネッセi-キャリア	261	51.0	大学生・社会人向けキャリア教育、キャリア形成支援サービス
(株)進研アド	65	100.0	高等教育機関専門の広告事業
(株)プランデット	40	100.0	学習教材の企画、編集
(株)ミネルヴァインテリジェンス	11	100.0	こども英会話教室の運営
(株)ラーズ	10	100.0	学習教材の製作、販売
(株)お茶の水ゼミナール	10	100.0*1	高校生向け予備校事業
(株)東京教育研	10	100.0	難関大学受験指導専門の学習塾事業
倍楽生商貿(中国)有限公司	125,000千人民币	100.0	幼児向け通信教育事業
PT. Benesse Indonesia	65,300千 インドネシアルピア	100.0	インドネシアにおける学習塾事業
(株)ベネッセスタイルケア	100	100.0	高齢者介護サービス事業、保育事業
(株)ベネッセシニアサポート	100	100.0*2	介護相談サービス事業
(株)ベネッセパレット	100	80.0*3	高齢者向け配食サービス事業
(株)ベネッセMCM	80	100.0*2	看護師及び介護職の人材紹介派遣業
Berlitz Corporation	1,005千米ドル	100.0	語学教育事業、グローバル人材教育事業、留学支援事業
(株)サイマル・インターナショナル	40	100.0	通訳、翻訳、語学教育事業
(株)TMJ	300	60.0	テレマーケティング事業
(株)ベネッセインフォシエル	150	70.0	情報システムの保守運用事業、情報処理サービス業
(株)ベネッセビジネスメイト	50	100.0*4	総務経理業務代行、アウトソーシング事業
(株)直島文化村	20	100.0	ホテル事業
(株)ベネッセ・ベースコム	20	100.0	学習教材、ソフトウェアの製作、販売業務サポート、発送管理代行
(株)ベネッセ・インシュアランス・サービス	20	94.0*5	保険代理業
Benesse Hong Kong Co., Ltd.	3,600千香港ドル	100.0	教具、玩具生産、仕入、貿易業務

(注) その他17社の連結子会社があります。

\*1 子会社を通しての50.0%の間接所有を含みます。

\*2 子会社を通しての間接所有です。

\*3 子会社を通しての80.0%の間接所有です。

\*4 子会社を通しての4.0%の間接所有を含みます。

\*5 子会社及び関連会社を通しての64.0%の間接所有を含みます。